# 第5章 新町建設計画の進捗状況

本章では、合併後のまちづくりを総合的かつ効果的に推進するための新町建設計画に掲げた主要施策について、合併後10年間における進捗状況をまとめた。

### 1 新町建設計画に掲げた事業の実施状況

### ①新町建設計画に掲げた事業数 (H16年8月策定時の事業)

		事業の実施状況			
事 業 区 分	計画事業数	既に実施済又	規模を縮小し		
		は継続実施中	て実施済み	未 実	施
3町一体化事業	12	7	2		3
伊方懸案事業	31	20	4		7
瀬戸懸案事業	29	17	3		9
三崎懸案事業	17	15	1		1
計	(a) 89	(b) 59	(c) 10	(d)	20

・事業実施割合 (b+c) / a = 77.5%

・未実施事業の割合 d / a = 22.5%

### ②上記未実施事業の理由別内訳

	計画が具体化	用地取得が出	情勢や環境の	その	り他
事 業 区 分	できなかった	来なかった	変化による		
3町一体化事業	2	0	1		0
伊方懸案事業	4	0	2		1
瀬戸懸案事業	3	3	3		0
三崎懸案事業	0	0	1		0
計	9	3	7		1

# ③合併後の見直しで追加した事業数

		事業の実施状況		
事 業 区 分	追加事業数	既に実施済又	規模を縮小し	
		は継続実施中	て実施済み	未 実 施
3町一体化事業	11	11	0	0
伊方懸案事業	1	1	0	0
瀬戸懸案事業	0	0	0	0
三崎懸案事業	3	3	0	0
計	(e) 15	(f) 15	(g) 0	0

• 追加後の事業実施割合

(b+c+f) / (a+e) = 80.8%

・ 未実施事業の割合

(d + g) / (a + e) = 19.2%

### ④合併特例債を活用して実施した事業

(単位:千円)

主要施策名	事 業 名	起債年度	特例債の額
生涯を安心し	健康交流施設亀ケ池温泉整備事業	H18~19	735, 000
て、自分らしく			
暮らせるまち	小計		735, 000
郷土に誇りを	伊方スポーツセンター改修事業	H23	81, 800
もち、笑顔あふ			
れる人が集う			
まち	小計		81, 800
快適で、温かい	町道伊方宮内線道路改良事業	H17	56, 700
ふれあいが広	湊浦前の川河川改良事業	H17. 19. 23	165, 700
がるまち	伊方港海岸保全施設整備事業	H17~19	38, 600
	都市再開発用地河川整備事業	H18~20	85, 400
	橋梁修繕事業	<b>※</b> H26	2,800
	町道瀬戸頂上線道路改良事業	H17~19	80,000
	四ツ浜(川之浜)漁港港整備交付金事業	H17~20	118, 100

	塩成漁港港整備交付金事業	H17~22	368, 900
	町立三机小学校校舎耐震補強工事	H18~19	44, 500
	町立三崎小学校校舎改築事業	H20	209, 000
	三崎港港湾改修事業負担金	H17	4, 500
	三崎港港整備交付金事業負担金	H17~20	102, 900
	三崎港港湾局部改良事業負担金	H17	1, 100
	三崎港地震対策事業負担金	H23	121, 900
	三崎港海岸保全施設事業負担金	H25∼ <b>%</b> H26	23, 700
	三崎港港湾施設防災・減災対策事業負担金	<b>※</b> H26	9, 300
	佐田岬漁港広域漁港整備事業負担金	H18~21	64, 900
	町道大佐田名取口線道路災害防除事業	<b>※</b> H26	63, 600
	県道鳥井喜木津線生活道路改良整備事業負担金	H17 $\sim$	105, 600
	県道鳥井喜木津線地震防災関連緊急事業負担金	H23	11,000
	県道佐田岬三崎線生活道路改良整備事業負担金	H17 $\sim$	26, 900
	県道佐田岬三崎線地震防災緊急整備事業負担金	H23	1, 200
	リサイクルセンター建設事業	H21	77, 000
	一般廃棄物最終処分場建設事業	H23~24	483, 800
	小計		2, 267, 100
海と山の恵み	風車公園整備事業	H18	20, 200
を生かし、ゆと	町道亀ケ池線・加周古屋敷線路面整備工事	H18~19	12, 800
りある暮らし	水利施設整備事業	<b>※</b> H26	10, 400
のできるまち	県営中山間地域総合整備事業負担金	H17~18	187, 200
	新町単独中山間地域総合整備事業	H18	115, 000
	県営畑地帯総合整備事業	H17	25, 600
	観光交流拠点施設新築工事	<b>%</b> H26	120, 400
	小計		491, 600
	3, 575, 500		

※H26 は見込み額

# ⑤未実施事業の一覧

事業区分	事 業 名	内 容
3町一体化事業	特養(瀬戸あいじゅ)施設整備補助	増床事業補助
	佐田岬体験交流センター施設整備事業	施設の新築
	瀬戸農業公園グレードアップ事業	加工場増築
伊方懸案事業	二見小学校プール改築工事	プール改築
	廃棄物処理施設整備	生ごみ堆肥化施設
	海岸保全施設整備事業(長崎)	護岸保護工事
	基盤整備促進事業(畑地区)	農道新設
	基盤整備促進事業(古屋敷地区)	農道新設
	伊方町製氷施設補修事業	製氷機更新
	伊方港海岸保全施設整備事業	排水施設整備
瀬戸懸案事業	特定公共賃貸住宅整備事業	特公賃住宅6戸
	国道アクセス道路改良事業	アクセス町道改良
	川之浜地区内 15 号線道路新設事業	地区内線の新設
	三机地区内 15 号線道路新設事業	IJ.
	三机地区内 16 号線道路新設事業	n,
	三机港湾改修事業	護岸、防波堤の改良
	四ツ浜(大久)漁港再生交付金事業	防波堤の改良
	風力発電施設整備事業	風車2基新設
	コミュニテイー施設整備事業	地区体育館の新築
三崎懸案事業	公営住宅整備事業	公営住宅 16 戸



# 2 合併特例債の活用状況

①合併特例債の起債額 (H26年度末見込み) (単位:千円)

特例債起債限度額	起債額合計	残 額	執行率
6, 873, 900	3, 575, 500	3, 298, 400	52.0%

# ②年度別の起債額

年度	起債額	全体に占める割合	備考
平成 17 年度	346, 700	5.0%	
18	699, 200	10.2%	
19	775, 500	11.3%	
20	397, 000	5.8%	
21	211, 100	3.1%	
22	92, 300	1.3%	
23	340, 200	4.9%	
24	456, 400	6.6%	
25	27, 600	0.4%	
26	229, 500	3.4%	
計	3, 575, 500	52.0%	

# ③事業区分別の起債額

事業区分	起債額	割合	備考
3町一体化事業	1, 491, 700	41.7%	
伊方懸案事業	1, 126, 700	31.5%	
瀬戸懸案事業	544, 000	15. 2%	
三崎懸案事業	413, 100	11.6%	
計	3, 575, 500	100.0%	

#### ④事業実施地域別の起債額

事業区分	起債額	割合	備考
伊方地域	2, 018, 400	56. 5%	
瀬戸地域	769, 500	21. 5%	
三 崎 地 域	787, 600	22.0%	
計	3, 575, 500	100.0%	

### 3 新町建設計画の検証結果

合併協議会では、新伊方町の合併後の10年間のまちづくりの基本方針を示した新町建設計画を策定したが、合併特例債を活用したまちづくりの主要事業及び概算事業費については、前期5か年の計画とし、後期5か年の計画については合併後の適正な時期に見直しを行い策定することとしていた。

そのため、町では平成23年9月に町議会の承認を受けて、平成26年度までの後期 5か年計画を、予定どおり策定することができた。

建設計画に掲げた主要事業の実施割合は77.5%であるが、未実施の事業については合併後の社会情勢の変化に伴い事業効果や需要が低くなった事業や、用地の問題等で実現出来なかったものであり、新町建設計画に掲げた主要なまちづくり事業については、ほぼ計画どおり実現することができている。

また、新町建設計画の策定時には特に重要視されていなかった防災・減災対策の事業について、東日本大震災の発生により南海・東南海地震に対する住民の不安が急速に広がり、緊急の対応として様々な対策に着手したことから、防災・地域安全の分野については計画以上の進捗状況となっている。

なお、国が合併特例債の発行期間を延長したことから、町では、平成27年度から6年間の新町建設計画の期間延長を行い、合併特例債の発行可能額約33億円を有効に活用するまちづくり計画の策定作業に着手している。